



地域医療構想全体の理解を進める取組を

高橋 浩輔（みらい）



Q 地域医療構想を進めていくためには、市民の理解や納得が不可欠である。地域医療構想の全体像を市民に理解してもらうための取組がもっと必要ではないか。

A これまで労災病院の閉院後のことやセンター病院改築について、市民に説明する機会があった。地域医療構想についても、説明の場を県とともに持ちたいと考えており、その中に、センター病院の経営改善・改築や労災病院の跡地のことも含まれてくる。市民が少しでも安心できる地域医療体制の構築に向け、取組を進めていきたい。

「義の心」の周知・普及と継承の取組を

Q 謙信公生誕500年に向け、「義の心」の周知・普及と次世代への継承について検討委員会を立ち上げ、議論の俎上に載せるべきでは。

A 春日地域の学校は、教育の一環として謙信公や春日山における様々な活動に取り組んでいるが、米沢市などの事例も参考にすると、もう一歩進めたほうが良いと考えている。「義の心」の精神を後世に継いでいくための検討委員会は重要な役割を果たすと考えており、こういった取組を進めていきたい。



市長の政治姿勢と市長選出馬の考えは

本城 文夫（市民クラブ）



Q 10月19日告示の市長選挙への出馬の考えを聞きたい。本気度が問われているがどうか。

A 関係者と話し合い、考えを整理している。

Q 公約の自己採点を聞きたい。

A 着手できるものから適宜実行に移している。最終的な評価を行うのは市民の皆さんである。

Q 不適切発言で辞職勧告を受けたが、信頼関係の回復に向けた市長の責務をどう考えるか。

A 議員とは互いを尊重し合える関係を築くことができるよう、誠心誠意努める。

地域医療の強化を！

Q 地域医療センター病院は、応急的な整備だけで職員、患者の不安解消となるのか。

A 早急に修繕が必要な箇所を洗い出し、予算を確保した。改築完了まで良好な治療、療養環境を提供し、職場環境の保全を図っていく。

Q 上越地域医療構想調整会議で医療体制の中期再編案をまとめる方針が示されたが、センター病院改築に遅れは出ないか。また、合併特例債の期限である令和11年度中の開院見通しは。

A センター病院の運営を続ける方針が調整会議の共通認識として浸透しており、この方針は変わらないと考えている。発注方式の工夫により整備期間の短縮を図るなど、令和11年度末までの完了の可能性を排除せず、検討を続ける。



上越妙高駅周辺の開発の考えは

こんどう 彰治（市民クラブ）



Q 上越妙高駅東口にある民間所有の未開発の土地を、官民一体で開発する考えはないか。

A 市では施設整備などに取り組む考えはない。

Q 北信越のど真ん中で交通アクセスも良い。当市の南の玄関口、ゲートウェイとして核となる施設が必要ではないか。

A 大規模商業施設は考えていない。

Q 釜蓋遺跡発掘の進捗と、市内外における遺跡の存在を知らない人への周知方法はどうか。

A 遺跡の範囲を確認する調査を継続し、遺跡の範囲など全体像を明らかにする。また、上越妙高駅観光案内所でのパンフレット配布や、ホームページでの情報発信などに努める。

当市のロゴマーク入りユニホームの考えは

Q 妙高市では、箱根駅伝で活躍している青山学院大学のユニホームに市のロゴマークを入れて名前を発信している。市のアピールのため、当市でも取り組む考えはないか。

A 手法を参考としながら、シティプロモーションの取組を強化する。

Q 当市にもホームグラウンドを擁する女子ソフトボールの太陽誘電や、アジア大会のBMX金メダリスト中井飛馬氏が存在する。ロゴマークを入れる取組を進められないか。

A ご意見は参考にしていきたい。